opusdei.org

## 属人区長のメッセージ(2025年7月21 日)

フェルナンド・オカリス師は、オプス・デイが家族であることを神に感謝し、2025年聖年「青年の祝祭」のために祈るよう招きます。

## 2025/07/21

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちを守ってくださいますように!

7月26日に祝われる聖母マリアの両 親、聖ヨアキムと聖アンナの記念を 前にして、私はオプス・デイが本当 に家族であるという事実に対して主 に感謝を捧げたいと思います。聖ホ セマリアはこう書いています。「オ プス・デイに属する私たちは皆、一 つの家族をかたちづくっています。 私たちが一つの家族であるのは、同 じ屋根の下で暮らしているという物 理的な理由によるのではありませ ん。最初のキリスト者たちのよう に、私たちは心も思いも一つにして おり(使徒言行録 4・32)、オプス・ デイの中で誰一人として、決して無 関心という苦しみを感じることはな いでしょう」(手紙11、23番)。

神のおかげで、ありがたいことに私 たちはオプス・デイの中で誰もその ような無関心の苦みを味わうことの ないよう望んでいます。それゆえ、 性格の違い、仕事のスケジュール、 あるいは日常生活におけるさまざま

な状況が、実際的な無関心へとつな がってしまうことのないように心が けています。私たち皆が心も思いも 一つにして生きるためには、兄弟姉 妹のことが本当に「自分のこと」と して感じられるようになる必要があ ります。私たちの心がキリストのよ うに広くなるように、ためらうこと なく主に願い求めましょう。それは 「あらゆる障壁を超えて、ますます 愛情を深めていく | (『十字架の道 行』第8留、5番)力を持つ心です。 キリストが私たちのためにどのよう に命を捧げられたかを黙想すると き、私たちは条件をつけることなく 愛するということを知ります。それ は兄弟姉妹のために自分の命を捧げ るにまで至る愛です。最近教皇レオ 十四世は次のように述べられまし た。「イエスは、神と人に対するま ことの愛の啓示です。それは、所有 するのではなく、与える愛です。求 めるのではなく、ゆるす愛です。決 して見捨てることなく、助ける愛で

す」(2025年7月13日「お告げの祈り」)。

近いうちに、ローマで若者たちのための聖年の祝祭が始まります。その日々が参加者たちの人生における「恵みのとき」、生きたキリストとの本当の出会いとなるよう祈りましょう。キリストは欺かない希望であり(ローマ5・5参照)、私たちの幸福への渇望を唯一満たしてくださる方です。

オプス・デイの規約のためにも祈り 続けましょう。すでにお知らせした ように、現在聖座が規約の見直し作 業を行っています。

すべての愛情をこめて皆さんを祝福 します

皆さんのパドレ、フェルナンド パンプローナ、2025年7月21日 pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-messeeji-20250721/(2025/11/19)